

「全ては子どもたちのためになるかどうか」を判断基準におく。

## 1 学校教育目標

夢を抱き たくましく 生きぬく  
児童の育成  
～『夢教育』の推進～

### (1) めざす児童の姿

平成29年度の学校評価や児童の実態等から、①学力のさらなる向上（県平均+2）②激変する社会に対応できる強い心の育成を図ることが大切である。この課題をめざす児童の姿の「知・徳・体・その他の教育活動」の4つの柱とリンクさせて具現化していく。その具現化の方法として、4×⑤項目→20作戦+1〔全ての子に愛燦々〕で栗山小『夢教育』の推進を図る。

- ①知) 目的を持って 自ら進んで学習する子
- ②徳) 思いやりの心を持って 協力し合う子
- ③体) 健康安全に気をつけ 元気に運動する子

3つの視点で学年の発達段階に応じて、全教職員が共通理解し、全力で具現化していく。

### (2) めざす教師の姿

～ 全ての子に愛燦々 ～

- ①前年度までの考えなき踏襲はしない
- ②やるべき事はやり、言うべき事は言う
- ③夢を持つての意識改革を図る  
〔イノベーションを・・・〕

太陽の光が燦々とあらゆるものに永遠に降り注ぐと同様に、栗山小の全職員が、様々な視点であらゆる子に愛情を燦々と降り注ぎ、夢の達成を支援する。そして、自分自身も夢を持ち続けて、高い志と使命感を持って、仕事を楽しむ教師をめざす。

- ①教職への情熱と向上心を持った教師 (教育愛の再確認 → 教職についた頃の初心に戻る)
  - ア) 仕事に対しての高い志や使命感
  - イ) 子ども達に対する深い愛情
  - ウ) 指導[言葉]に対しての責任感
  - エ) 学び続ける向上心
  - オ) 時代に対応した教育知識 等
- ②プロとしての確かな力量のある教師 (読書のススメ[1年で1m] → 理論と実践の構築)
  - ア) 授業創造力
  - イ) 学級経営力
  - ウ) 子ども理解力
  - エ) 生徒指導力
  - オ) 校務遂行力
  - カ) 後輩育成力
  - キ) 学力向上力 等
- ③バランス感覚を持ち、豊かな人間力をめざす教師 (夢を持つての意識改革 → 今までの自分を振り返る)
  - ア) 豊かな人間性・社会性
  - イ) 社会に通じる常識・教養
  - ウ) 人間関係形成能力
  - エ) コミュニケーション力
  - オ) 思いやり・協調性
  - カ) 法令遵守(コンプライヤ)等

プロ教師の条件

「こんな子にしたい このような学級・学校にしたい」 → 「夢」を明確にする(学級目標を手書きで・・・)

- ※ 夢があるのでどうしてこうかという計画が生まれる (Plan) ..... 希望
- ※ 計画があるからこうしようとする行動・過程がある (Do) ..... 実践
- ※ 行動するから成果(反省)が生まれる (Check) ..... 評価
- ※ 成果(反省)があったのでこれからどうするかを考えが生まれる (Action) ..... 改革

このように進化していく学校(学級)でありたい!! さらに自分自身でありたい!!

- 2 「めざす児童の姿」への具現化（学校教育目標及びめざす児童の姿達成のための手立て）  
「全ては子どもたちのためになるかどうか」を学校・学級経営の判断基準におく  
 [内外の学校評価、目標申告、児童の実態等から教育活動の改善を図る。  
 →[そして、今20作戦の何をやっているかを明確に意識して推進する。]

◎学校経営の充実（目標に向かって、一致団結する教職員集団へ）

- ①具体的、数字目標でわかりやすい短期・長期目標を各教育計画で定め、学校評価等を基にM・IとPDCAサイクルを実施し、教育実践に生かす。  
 ②低・中・高別の組織体制で、全職員で学校経営に参画する。（チームで・・・）  
 ③開かれた学校経営に努め、信頼関係を構築し、保護者・地域の教育力を活用する。

◎学級経営の充実（最後の窓は開けておく、学年・学級に…決してあきらめない）

- ①学校教育目標、学年目標と関連し、担任の思い（ゆめ）を学級目標に掲げる。  
 ②各行事等を活用し、夢を持たせ、過程を大切にし明確に評価し、感動につなげる。  
 ③あらゆる場面で、「夢」を常に意識した指導に努める。[夢の掲示、ネーミング・だより等]  
 ※ふれたり迷ったら、基本に戻る心得を

（指導要領、学校目標、めざす児童の姿、めざす教師の姿、かがやき5項目等々）

H30年度の栗山小の学校経営 4×(5)=20[twenty]+1 作戦

I<目的を持って、自ら進んで学習する子>（マニフェストの活用）

- ◎わかる授業の実践に努め、学力の向上を図る。→ 数値目標（県平均+2点）  
 (1) 各教科における学習の仕方を定着させる。→ [市販の学期末テストの数値化]  
 →学習の仕方の定着 [国語を中心に+1教科→4教科]  
 (2) 基礎的事項の定着を図る。（月・水→100マス計算、火・木→漢字、金→学年裁量で）  
 →きらきらタイムの目的（○心地良い静寂による集中 ○できるという自信）  
 (3) 1時間の授業の充実に努める。  
 →○本時のねらい明確にする → **毎時間必ず学習問題を板書する**

- ①手を挙げて「ハイ」と返事して立つ ②発言している人を向く

- (4) 家庭学習や家での規則正しい生活習慣の定着に努める。  
 →かがやきカレンダーの家庭の定着→夏・冬・春学帳等の活用で習慣化を図る。  
 (5) 研修の充実に図り、教職員の資質の向上を図る。  
 →平成27年度からの継続で国語科の指導過程の定着+1教科を自分のものに・・・  
 [児童に対して学習の仕方の定着に努める。→ 4教科の教室掲示を目指す]

II<思いやりを持って協力し合う子>

◎学校・家庭・地域の連携により、基本的な生活習慣の確立を図る。

- (1) 基本的な生活習慣を定着させるためのかがやき5項目を設定、継続指導する。

〈かがやき5項目〉

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 あいさつができる        | 2 もくどう（せいそう）ができる。 |
| 3 みのまわりのせいとんができる  | 4 じがくができる         |
| 5 きかれたことにへんとうができる |                   |

- (2) 道徳の授業(35時間)は、必ず確保し、道徳的価値観の定着を図る。  
 →週案に、今週の生活に連動して記入し、道徳的実践力の育成を図る。  
 (3) 様々な活動や行事で、道徳的実践力、思いやりの心、感動する心を培う。  
 →夢（目標）を持たせ、活動の過程を充実させ、評価することで感動・・・  
 [年間を通しての縦割り活動で人とのかかわりを・・・]  
 (4) 学校支援推進会議等を活用し、地域で子どもを育てる活動を計画的・継続的に行う。  
 (5) 学校だより、HP、学年・学級だより等での情報公開を推進する。  
 →それぞれの担当で発行回数等の数値目標を決めて取り組む。

### Ⅲ 〈健康安全に気をつけ、元気に運動する子〉

◎健康・安全に対して自ら関心を持って元気に運動する児童を育てる。

- (1) 目的を持った体育授業の充実を図る。→ ①全力走の位置づけ ②外遊びの日常化
- (2) 課外活動の積極的な参加を図る→陸上、綱引き(1、3学期)、合唱(5月～)等
- (3) 健康教育の推進に努める。

→①歯に関する指導(治療率) ②感染症予防及び保健だより等での啓発等

- (4) 安全な学校教育環境づくりに努める。(栗山小危機管理マニュアルの活用)

→自転車・歩行の安全教室、災害等における自助・共助、不審者対応等

- (5) 安全でいじめのない教育環境づくりを日常的に意識する。

[週案の目標に友だちとのかかわり等(思いやり)を週行事を見据えて記述する]

→相談週間、いじめアンケートの活用、相談箱の周知、いじめ対策推進委員会の活用等

### Ⅳ 〈他の教育活動〉

#### (1) 特別支援教育の充実

- ①特別支援教育の充実を図り、チームでの対応に努める。

→教育支援委員会の充実(特支CDの活用)

- ②一人一人に対応した個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、実践・評価し工夫改善に努める。(合理的配慮の提供)

- ③特別支援教育に対する研修に努める。→ 関係諸機関、専門家、各種研修会等

#### (2) 特別活動の充実

- ①縦割り活動を活用した学校行事等を通して、人間関係作りの構築に努める。

- ②学校行事を通して、夢を持たせ達成感・成就感を味わわせ、自信を持たせる。

#### (3) 生徒指導の充実(含む人権)

- ①**かがやき5項目**を設定し、基本的な生活習慣の向上を学校・家庭・地域で行う。

- ②**人権感覚の向上**と、**いじめの根絶**を目指した取り組みを学校全体で行う。

- ③児童理解に努め、一人一人の特性に応じて、**全職員で愛燦々**の指導を行う。

[①言葉を大切に ②全職員共通指導 ③最後の窓は開けておく]

- ④生徒指導の機能を生かした授業実践を行う。

(①自己決定 ②自己存在感 ③共感的な人間関係)

- ⑤授業のための2つ約束を徹底する。

①手を挙げて「ハイ」と返事して立つ ②発言している人を向く

#### (4) 情報教育の充実→[激変する社会の変化に対応**but**アナログの大切さ]

- ①日常の学習活動の中で、情報活用能力の向上に努める。

- ②情報モラル等、情報に対する危機意識が高められるように努める。

※教職員として、個人情報大切さを再度認識する。

#### (5) 研修の充実 (教えるプロとして → 「教師は授業で勝負する」)

- ①各教科の指導課程の定着を目指す。→ [1人2教科の指導過程を自分のものにする]

- ②OJT等を有効活用し、チームで継続的な日常の研究・研修の充実に努める。

- ③自己研修→〔読書〕音楽、相撲、映画、歌舞伎、スポーツ、趣味、etc]

1m 読書 (何か1つを・・・)

**+1 → 愛燦々** (①言葉を大切に ②全職員共通指導 ③最後の窓は開けておく)

「夢・希望 輝けくりっ子」 (key word)

◎教育公務員としての自覚を持ち、社会に通じる**服務規律の厳守**に努める(コンプライヤ)

◎ 「明るく ぶれずに 前向きに !!」

○ 「子ども達に愛燦々 そして かかわり 感動を・・・」